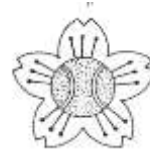


令和6年9月30日発行

横浜市立六浦小学校学校だより



むつうら



本校教育目標「つながるなかま まち いきいき 六浦っ子」

ユニバーサルデザイン～相手意識を深める大切さ

校長 内野 泰久

この数日で一気に季節の針が進み、吹く風にすっかり秋を感じる様になりました。子どもたちは10月26日に予定されている運動会に向けて、一生懸命、練習に励んでいます。

コンビニで売っている某メーカーの20入りのペットボトル麦茶の容器には、容器の中ほどが細く凹ませてある部分があります。それは、手が小さい人でもボトルをしっかり握ることができ、コップに注ぎやすいように、わざと凹ませてあります。個人の違いに関わらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指したユニバーサルデザインです。

4年生の総合的な学習の一環で、先日、金沢区社会福祉協議会を通して、地域にお住まいの電動車いすの方に来ていただき授業をしていただきました。お話を伺った後、実際に校内にあるユニバーサルデザイン調べの活動をしました。昇降口のスロープや手すり、みんなのトイレ(障がい者用トイレ)、図書室の触れて楽しめる本などの発見がありました。子どもたちは、ユニバーサルデザインが自分たちの生活の中に溶け込んでいるという気づきがあり、「今のままでは少ないと思う。もっとたくさんないと。」「予想よりたくさんあった。」と多くの意見、感想がありました。これから自分たちが住む六浦の中のユニバーサルデザインに視野を広げ、様々な人たちの視点に立った福祉学習に深化することを期待しています。

また、PTAの家庭教育学級では認知症サポーターに関する講演会を企画しています。高学年の子どもたちも一緒に参加する予定です。保護者の皆様の多くの方の参加、宜しくお願いいたします。

これからも六浦小学校では、自分のことだけでなく、相手のことを考える意識を深められる学習を大切にすすめていきたいと思っています。